Engineer

ソフトウェアをAIエージェント向けツールに

選んだソフトウェア操作を、仕様を記述したAIエージェント向けツールとして公開します。権限、API仕様の整合性検査、計画的な展開を備えます。

すでに運用している業務ソフトウェアを、AIエージェントが明確な方法で利用できるようにします。適した操作を特定し、入力と結果を記述し、権限を確認してからツールとして公開します。変更は既存のアプリケーションと並行して計画し、運用上の制約に合わせてテストと展開を合意します。

サービスを成果につなげる

「ソフトウェアをAIエージェント向けツールに」を事業の成果につなげましょう。技術的な作業を、それが支えるべき利用者、運用、意思決定に結び付けるお手伝いをします。 すでに動いている部分は書き直さず、既存のソフトウェアをAIエージェントから呼び出せるツールとして公開します。

サービスを見る お問い合わせ →

関連する実績を確かめる

このページの関連実績から、私たちの取り組み方をご確認ください。それぞれの成果の背景にある条件や、何を優先して何を見送ったかについてもお尋ねください。 PostgresからAPIへのJSONパススルーを設計 — データベースからブラウザーへ直接届くJSON

PostgresからAPIへのJSONパススルーを設計 お問い合わせ →

解きほぐす：画面からルールを取り出す

事業を動かすルールは、ソフトウェアに隠れています。フォームの検証、ストアドプロシージャ、誰も変更に踏み切れないレポート、開発した人の頭の中などです。それらを見つけて文書化し、それぞれを一つの層、多くの場合はデータベース自体に移します。そこでは、どの呼び出し元にも同じ答えが返ります。画面、エージェント、提携先の連携システムは、別々のルールを保守するのではなく、同じ実装済みのルールを利用します。

公開する：エージェントが呼べる、仕様付きのツール

エージェントに提供すべき各操作を、予約枠を取る、料金を見積もる、注文の処理を許可するなど、仕事の内容に沿った名前のツールにします。型を定めた入力、エージェントが次の行動を取れるエラー、再試行でも二重に予約しない冪等な呼び出しを備えます。説明はコードから生成するOpenAPI文書とし、MCPサーバーでも、対応するエージェントに同じ操作を提供します。認証にはOAuthを使い、パスワードを受け渡さず、利用者の権限の範囲内だけで、その代理として動作させます。

操作を管理された手順で段階的に展開する

選んだ操作を既存のアプリケーションと並行して公開し、新しい経路と現在の挙動を比較します。時間のかかる処理は、適する場合にキューへ移せます。展開前に、依存関係、移行の必要性、保守時間帯、ロールバックを評価します。合意した構成で可能な場合は、既存の画面を引き続き利用できるようにします。中断が必要な場合は、サービスの運用担当者と計画します。

エージェントは **ツールの説明を一言一句信じます** — だから、説明はコードから生成する必要があります。

人は古いマニュアルに気付きますが、エージェントはそのまま行動します。

API仕様を生成し、ずれを検査する

構成が対応する場合、データベースとAPIの定義から仕様を生成し、公開されたAPI仕様と実装を比較します。検査によって対象操作の不一致を特定し、互換性の変更をレビューで確認できるようにします。テストと、その対象範囲も引き継ぎに含めます。仕様を生成しただけで、すべての挙動の正しさが証明されるわけではありません。

取り組みを裏付ける実績

大規模なシステムを、この方法で外部から使えるようにしてきました。各段階に検査を設けて、データベースを起点にAPI契約を生成し、760操作のAPIを、公開仕様との一致率100%で移行しました。PostgreSQLからAPIへのJSONパススルーを設計し、業務ルールを一か所に置く、層を明確に分けたプラットフォームを構築し、時間のかかる処理をジョブキューへ移し、データベースへ直接アクセスせずに運用できる運用担当者向けの管理画面を構築しました。

ご依頼の進め方

まず、担当者が日々ソフトウェアで行う操作を一覧にし、頻度と負担の大きさで並べます。最初のいくつかの操作を選んでルールを見つけ、テストと権限で保護した、仕様付きのツールとして公開します。画面を置き換えるのではなく、並行して動かします。その後、次の操作に進みます。コード、テスト、仕様はお客様のチームに残ります。ツールは、業種に合わせて構築したエージェント、従業員がすでに使うアシスタント、提携先のシステムから呼び出せます。他の仕事と同じく、料金に記載する条件でご依頼いただけます。

誰かがクリックしないと動かないソフトウェアをお使いでしたら、
その内容をお聞かせください。

お使いのソフトウェアを、エージェントが呼び出せるツールへ

解きほぐす

画面、フォーム、ストアドプロシージャに埋め込まれたルールを見つけ、文書化し、一つの層にまとめます。

公開する

各操作を、型と仕様を記述したツールとしてAPIまたはMCPサーバー経由で提供し、利用者の権限の範囲内でのみ動作させます。

稼働を続ける

範囲を定めた連携では、既存画面を維持しながら操作を一つずつ公開できます。アプリケーションの変更は、そのインターフェースを確認したうえで合意します。

自社のソフトウェアについて相談する

お使いのソフトウェアにはすでに **エージェントに必要な機能があります** — エージェントが読める言葉で呼び出せるようにする必要があります。

まず、日々の操作を一覧にし、担当者の負担が大きい順に整理します。

着手する箇所を相談する 料金 →

発注前に業務範囲を定める

業務の流れ、既存のインターフェース、変更を必要とする利用者をお知らせください。検証可能な納品内容と、お客様のチームが保守を続けられる引き継ぎ内容を定められます。

料金を見る お問い合わせ →

要件について話し合う

「ソフトウェアをAIエージェント向けツールに」に求めることを、納期や保守を担当するチームも含めてお聞かせください。実行可能な進め方をご相談いただけます。

サービスを見る

welcome@engineer.company +45 50 10 61 84 デンマーク、コペンハーゲン

このページを持ち歩く

連絡先カード

心を込めて丁寧に制作： D.

CVR 45969703 · Tagensvej 105C, 3. th, 2200 København N

著作権 © 2025 – 現在 · Engineer ApS · すべての権利を留保します。

印刷元： https://engineer.company/ja/ai-tools/